

案件概要書

2014 年 10 月 28 日

1. 基本情報

- (1) 国名：ミャンマー連邦共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：カチン州、チン州
- (3) 案件名：カチン州・チン州道路建設機材整備計画（The Project for Improvement of Traffic Management in Yangon City）
- (4) 事業の要約：本事業は、開発が遅れているカチン州及びチン州において、道路建設機材を供与することにより、道路整備の促進を図り、もって国民生活の向上に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における道路セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け：

ミャンマーは 100 以上の民族が居住する、多様な民族国家である。1948 年の独立以降、様々な民族グループはミャンマー政府に対して積極的支援や、自治権の拡大、完全独立等を求めて武力闘争を開始したが、1990 年代以降、ミャンマー政府は少数民族との和解を進めてきた。2011 年 3 月に発足した現政権も国民和解に向けて、少数民族と精力的に停戦合意・和平交渉を進めており、近々全国停戦合意が締結されるという報道もある。

カチン州は、ミャンマー北部の州でインド・中国に挟まれた位置にあり、地域全体がカチン高原地帯で広大な山間奥地を有する。カチン族、シャン族、ビルマ族等が居住し、山間丘陵部での焼畑農業が主な生業である。カチン州においては 1960 年代中頃から州の独立を求める少数民族側の動きが強くなり、特に 1990 年代以降はカチン独立軍とミャンマー軍との激しい武力衝突により、多数の国内避難民が発生した。2011 年の新政権発足後にあっても、停戦に向けて協議が続いている。カチン州では農・畜産業以外にも南部渓谷では金等の鉱山開発も進んでいるが、陰しい山岳地帯において頻発する豪雨やサイクロンによる土砂災害により、近隣州・地域とのアクセスが制限されている状況にある。また、チン州は、ミャンマー西部の州でインド・バングラデシュと隣接し、非常に急峻な地勢にある。チン族やルシャイ族、ビルマ族等が居住しているが民族間の衝突は特段起きておらず、焼畑農業や狩猟が主な生業であり、近年では林業や鉱山開発も進められている。チン州には、マニプール川やカラダム川に代表される多くの河川があり、土壌浸食や森林伐採を予防するために段々畑での農業が奨励されているが、丘陵や谷を抜ける流れは強く、豪雨による地滑りや洪水といった自然災害が頻発している地域である。

特に開発が遅れた最貧州に位置付けられるカチン州及びチン州は、道路整備の遅れが他の州や地域より顕著である。域内の物流を支える主要道路は劣悪な状態にあり、豪雨による道路冠水や土砂災害、橋梁の流失等が頻発している。住民の基本的な生活改善に資する公共サービスへのアクセス確保や安定した物流網構築のための道路整備が喫緊の課題である。

しかしながら、ミャンマー国内の主要道路の建設・維持管理を実施する建設省公共事業局は、長く続いた経済制裁に伴い保有する道路建設機材の不足や老朽化等の問題を抱えており、十分な道路整備事業を展開できない状況にある。

現政権の最大の関心事項の一つである国民和解のために、少数民族との停戦合意・和平交渉の推進に向けて、本事業による少数民族地域の地方開発促進への貢献が期待されている。

(2) 道路セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け：

我が国は対ミャンマー国経済協力方針（2012 年 4 月）「国民の生活向上のための支援」の下、少数民族地域への支援を促進している。これまでも、JICA は「シャン州北部コーカン地区電化計画 2」（無償）（2001 年）、「シャン州北部コーカン地区道路建設機材整備計画」（無償）（2001 年）等道路、電化を含めた貧困削減に係る総合的農村開発支援を展開してきた。また、「カレン州道路建設機材整備計画」（無償）（2013 年）及び「ラカイン州道路建設機材整備計画」（無償）（2014 年）を実施中である。

(3) 他の援助機関の対応：

カチン州及びチン州においては、国連難民高等弁務官事務所や国際 NGO が保健衛生向上、教育、基礎インフラ（橋梁・給水施設等）等の人道分野の支援が実施されている。

(4) 本事業を実施する意義：

本事業は開発が遅れているカチン州及びチン州において道路建設機材を整備することにより、道路整備の促進を図り、もって国民の生活向上に寄与するものであり、必要性及び妥当性は高い。少数民族地域への支援は我が国の経済協力方針に合致し、基本的な生活改善のニーズに応えるものであり、かつ継続的な支援を通じたミャンマー政府の民主化の取組への後押しにも貢献するものである。よって、無償資金協力としての本事業の実施意義は高い。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的：本事業は、開発が遅れているカチン州及びチン州において、道路建設機材を供与することにより、道路整備の促進を図り、もって国民の生活向上に寄与するもの。

② 事業内容：（詳細は協力準備調査にて確認）

1) 施設、機材等の内容

【機材】道路建設用機材一式（ブルドーザ、エクスカベータ、ダンプトラック、移動式ワークショップ等）。

2) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：

詳細設計、調達監理、機材管理及び調達機材を使った施工技術指導

③ 他の JICA 事業との連携：特に想定されていないが、協力準備調査にて確認。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制：建設省公共事業局（Public Works, Ministry of Construction）

② 他機関との連携・役割分担：特に想定はされていないが、協力準備調査にて確認。

③ 運営／維持管理体制：既存の建機を保有・利用中であり、一定の運営・維持管理能力は備えていると考えられるが、協力対象の地方実施機関の実施能力を協力準備調査で確認。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリー分類： ☐A ☐B ☒C ☐FI

② カテゴリー分類の根拠：

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(4) 横断的事項：協力準備調査にて確認。

(5) その他特記事項：協力準備調査にて確認。

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

「バングラデシュ国洪水被害復旧用機材・資材整備計画」の事後評価等において、実施機関によるスペアパーツの選定等メンテナンス方法が徹底されておらず、機材の故障の頻度が高くなり本来の機能を発揮できないことが確認された。本事業への教訓として、機材が十分に整備され適切に利活用されるよう、維持管理計画を確認し、ソフトコンポーネントにてスペアパーツも含めた機材管理に係る技術支援を行うとともに、機材台帳等の活用状況を参照して、事後評価等によるモニタリングを行う（リスク項目：「財務・技術能力不足の可能性」及び「開発効果の持続可能性」に該当）。「カレン州道路建設機材整備計画」（無償）（2013 年）及び「ラカイン州道路建設機材整備計画」（無償）（2014 年）においては、前者は機材の引き渡し直前、後者は調達手続中ではあるが、予定どおり進捗している。

以 上

[別添資料] カチン州・チン州道路建設機材整備計画 地図

●：地方主要都市



出典：JICA（2013）